

『クローズアップ 空調省エネ』の特集で ESCO-ONEが紹介されました

円安によって輸出企業は息を吹き返したが、火力発電の燃料輸入コスト増に伴い貿易収支は大幅に悪化した。さらに、電気料金の値上げや省エネ法改正も視野に入り、省エネ対策はビルオーナーだけの問題ではない、国家的な問題となりそうだ。中でも、ビルにおいて消費電力の割合が大きいのは空調設備。今回は既存空調の性能を最大化する手法を紹介する。



代表取締役

ユニヴァ・キャピタル・ジャパン

ユニヴァ・キャピタル・ジャパン（東京都港区）は創業以来、省エネの実現と環境配慮への貢献という理念のもと、エスコサード・ビジネス事業を推進しており、現在、空調設備の省エネを実現する制御装置「ESCO-ONE」の販売を強化している。東日本大震災以降、オフィスの節電需要が高まっており、空調の自動制御によるデマンドコントロールが注目されている。同社が販売する「ESCO-ONE」は、こうした節電需要に応える製品となっており、その特徴は業務用エアコン（冷凍庫・冷蔵庫のコンプレッサーの稼働状況を監視し、最適なタイミングで省エネ制御を行うこと）で、テナントに負担をかけることなく、省エネ・節電を実現できる点にある。『ESCO-ONE』省エネ・節電対策に対する分析を行うことも可能となっている。

空調設備の自動制御で15%の消費電力を削減

省エネ・節電対策に対する分析を行うことも可能となっている。

「ONE」の販売を強化している。東日本大震災以降、オフィスの節電需要が高まっており、空調の自動制御によるデマンドコントロールが注目されている。同社が販売する「ESCO-ONE」は、こうした節電需要に応える製品となっており、その特徴は業務用エアコン（冷凍庫・冷蔵庫のコンプレッサーの稼働状況を監視し、最適なタイミングで省エネ制御を行うこと）で、テナントに負担をかけることなく、省エネ・節電を実現できる点にある。

「ESCO-ONE」は、こうした節電需要に応える製品となっており、その特徴は業務用エアコン（冷凍庫・冷蔵庫のコンプレッサーの稼働状況を監視し、最適なタイミングで省エネ制御を行うこと）で、テナントに負担をかけることなく、省エネ・節電を実現できる点にある。

「ESCO-ONE」は、こうした節電需要に応える製品となっており、その特徴は業務用エアコン（冷凍庫・冷蔵庫のコンプレッサーの稼働状況を監視し、最適なタイミングで省エネ制御を行うこと）で、テナントに負担をかけることなく、省エネ・節電を実現できる点にある。

「ESCO-ONE」は、こうした節電需要に応える製品となっており、その特徴は業務用エアコン（冷凍庫・冷蔵庫のコンプレッサーの稼働状況を監視し、最適なタイミングで省エネ制御を行うこと）で、テナントに負担をかけることなく、省エネ・節電を実現できる点にある。

「ESCO-ONE」は、こうした節電需要に応える製品となっており、その特徴は業務用エアコン（冷凍庫・冷蔵庫のコンプレッサーの稼働状況を監視し、最適なタイミングで省エネ制御を行うこと）で、テナントに負担をかけることなく、省エネ・節電を実現できる点にある。

「ESCO-ONE」は、こうした節電需要に応える製品となっており、その特徴は業務用エアコン（冷凍庫・冷蔵庫のコンプレッサーの稼働状況を監視し、最適なタイミングで省エネ制御を行うこと）で、テナントに負担をかけることなく、省エネ・節電を実現できる点にある。